



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月14日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東
 コード番号 3904 URL <http://www.kayac.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 藤川 綱司 (TEL) 0467-61-3399
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	2,868	5.4	95	△80.5	102	△79.5	49	△85.2
29年12月期第2四半期	2,720	6.3	488	111.6	503	92.2	334	123.1

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 106百万円(△73.2%) 29年12月期第2四半期 398百万円(104.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年12月期第2四半期	3	27	3	21
29年12月期第2四半期	22	21	21	68

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	5,506		2,959		52.0	
29年12月期	5,148		2,891		54.5	

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 2,863百万円 29年12月期 2,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年12月期	—	0.00	—	3.90	3.90
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	3.90	3.90

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 平成30年12月期の配当金につきましては、現在未定であります。

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	7,300	19.9	850	25.9	880	19.3	600	18.2	39	84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一 、 除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年12月期2Q	15,088,000株	29年12月期	15,060,200株
30年12月期2Q	135株	29年12月期	135株
30年12月期2Q	15,071,771株	29年12月期2Q	15,052,933株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、政府及び日銀による経済政策・金融緩和政策等を背景として企業収益や雇用情勢の改善がみられるなど、全体として緩やかな回復基調となりました。

当社グループを取り巻く事業環境としまして、平成29年のスマートフォン保有率は75.1%と過半数を超えるまで拡大しており、インターネット環境は発展を続けております(出所：総務省「平成30年版 情報通信白書」)。インターネット広告市場につきましても、平成29年の市場規模は前年比15.2%増の1兆5,094億円と順調に拡大しております(出所：電通「2017年 日本の広告」)。また、スマートフォンゲームの市場規模(予測)は、平成28年度は9,450億円、平成29年度には9,600億円と、安定的な成長が見込まれております(出所：矢野経済研究所)。

このような事業環境の中で、当社グループは良質なデジタルコンテンツをより多くのユーザーに楽しんでいただけるよう提供し続けております。その中でも受託サービスであるクライアントワーク、自社サービスであるソーシャルゲーム及び「Lobi」の3つを主要サービスと位置づけ注力し、相互にシナジーを図りながら事業を進めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,868,390千円(前年同期比5.4%増)、営業利益は95,474千円(前年同期比80.5%減)、経常利益は102,993千円(前年同期比79.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は49,312千円(前年同期比85.2%減)となりました。

当社グループの事業セグメントは単一セグメントではありますが、取扱いサービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

① クライアントワーク

新しい技術とアイデアに挑戦し、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験を提供することで、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告を提供しております。スマートフォンの普及や新しい技術の出現を背景に、WEB領域にとどまらないリアルと連動した案件の増加がみられております。そのような中で、積極的に業務提携を進めるとともに、VRを利用した案件等の新しい取り組みを積極的に行うことで事業領域の拡大を図っております。この結果、クライアントワーク関連の売上高は、927,721千円(前年同期比19.0%増)となりました。

② ソーシャルゲーム

「共闘スポーツRPG」を軸にしたタイトルを展開しており、「ぼくらの甲子園！」シリーズの最新作となる「ぼくらの甲子園！ポケット」が順調に推移しております。その中で、組織を拡充するとともに新規開発ラインに積極的に投資を行う中で、事業規模の拡大を図っております。また、2017年12月に「モダンコンバット Versus」の配信を開始し、パブリッシングにも新たに挑戦しました。しかしながら、新規タイトルの立ち上がりが遅れており、この結果、ソーシャルゲーム関連の売上高は、1,186,489千円(前年同期比20.6%減)となりました。

③ Lobi

「Lobi」というスマートフォンゲームに特化したコミュニティ事業を進めております。コミュニティがもつめる機能の拡充に努めるとともに、「Lobi」と連携するタイトル数を積極的に増加させる中でユーザー数の拡大を図っております。その中で、「Lobi」の強みであるユーザーやコミュニティにより焦点を当てた収益構造への転換を図っております。また、2017年7月にゲーム大会の開催を簡単にするトーナメント機能「Lobi Tournament」をリリースしました。この結果、Lobi関連の売上高は、199,946千円(前年同期比17.3%減)となりました。

④ その他サービス

「プラコレWedding」等の新規サービスは順調に成長を続けております。また、2017年6月にe-sports事業を営むウェルブレイド(株)を子会社化し、グループ全体としてゲーム周辺領域のさらなる拡充を図っております。この結果、その他サービス関連の売上高は、554,233千円(前年同期比170.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ358,252千円増加し、5,506,829千円となりました。主な要因は、鎌倉開発拠点施設関連の取得等に伴う有形固定資産の増加305,609千円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ290,024千円増加し、2,547,518千円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の増加370,100千円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ68,227千円増加し、2,959,311千円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加53,213千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見直しにつきましては、平成30年2月14日公表の「平成29年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の予想を変更しておりません。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,691,688	1,654,922
受取手形及び売掛金	1,052,780	896,246
仕掛品	58,110	128,890
その他	289,905	266,088
貸倒引当金	△37,090	△37,092
流動資産合計	3,055,394	2,909,056
固定資産		
有形固定資産		
土地	690,478	690,478
その他(純額)	369,815	675,424
有形固定資産合計	1,060,294	1,365,903
無形固定資産		
のれん	263,444	270,907
その他	135,478	138,834
無形固定資産合計	398,922	409,741
投資その他の資産		
投資有価証券	466,687	652,609
その他	169,555	171,795
貸倒引当金	△2,276	△2,276
投資その他の資産合計	633,965	822,128
固定資産合計	2,093,182	2,597,773
資産合計	5,148,576	5,506,829
負債の部		
流動負債		
買掛金	277,469	165,836
1年内返済予定の長期借入金	155,640	280,632
未払金	164,951	142,448
未払費用	184,370	205,254
未払法人税等	81,693	56,889
その他	157,064	193,433
流動負債合計	1,021,190	1,044,493
固定負債		
長期借入金	1,136,468	1,381,576
その他	99,834	121,448
固定負債合計	1,236,302	1,503,024
負債合計	2,257,493	2,547,518

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,410	503,077
資本剰余金	439,291	446,959
利益剰余金	1,573,469	1,564,048
自己株式	△174	△174
株主資本合計	2,507,996	2,513,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	297,512	350,726
為替換算調整勘定	△72	△882
その他の包括利益累計額合計	297,440	349,843
新株予約権	38,432	43,262
非支配株主持分	47,213	52,294
純資産合計	2,891,083	2,959,311
負債純資産合計	5,148,576	5,506,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,720,698	2,868,390
売上原価	1,549,282	1,976,601
売上総利益	1,171,416	891,789
販売費及び一般管理費	682,896	796,314
営業利益	488,519	95,474
営業外収益		
受取利息	112	81
受取配当金	2,030	2,153
補助金収入	11,999	—
助成金収入	4,400	6,030
為替差益	—	1,055
その他	474	1,206
営業外収益合計	19,018	10,527
営業外費用		
支払利息	1,567	1,240
為替差損	2,666	—
その他	213	1,768
営業外費用合計	4,448	3,008
経常利益	503,089	102,993
税金等調整前四半期純利益	503,089	102,993
法人税、住民税及び事業税	154,080	47,488
法人税等調整額	15,379	1,111
法人税等合計	169,459	48,599
四半期純利益	333,629	54,393
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△635	5,080
親会社株主に帰属する四半期純利益	334,265	49,312

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	333,629	54,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65,618	53,213
為替換算調整勘定	△448	△809
その他の包括利益合計	65,169	52,403
四半期包括利益	398,799	106,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	399,435	101,716
非支配株主に係る四半期包括利益	△635	5,080

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	503,089	102,993
減価償却費	29,754	41,516
のれん償却額	11,537	24,559
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12,513	2
受取利息	△112	△81
受取配当金	△2,030	△2,153
補助金収入	△11,999	—
助成金収入	△4,400	△6,030
支払利息	1,567	1,240
売上債権の増減額(△は増加)	187,221	160,910
たな卸資産の増減額(△は増加)	△131,547	△80,832
仕入債務の増減額(△は減少)	△72,441	△112,142
未払金の増減額(△は減少)	△57,909	△22,761
未払費用の増減額(△は減少)	△9,403	16,745
その他	39,195	85,210
小計	495,034	209,177
利息及び配当金の受取額	2,143	2,235
利息の支払額	△1,416	△1,240
法人税等の支払額	△206,692	△67,520
補助金の受取額	11,999	—
助成金の受取額	5,400	7,970
営業活動によるキャッシュ・フロー	306,468	150,621
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△227,764	△347,515
無形固定資産の取得による支出	△68,422	△14,334
投資有価証券の取得による支出	—	△111,354
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△21,780	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	22,227	89
その他	3,826	2,677
投資活動によるキャッシュ・フロー	△291,912	△470,437
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△10,000
長期借入金の返済による支出	△55,470	△164,885
長期借入れによる収入	—	500,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△3,000	—
非支配株主からの払込みによる収入	4,600	—
配当金の支払額	—	△54,326
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,932	12,848
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,938	283,637
現金及び現金同等物に係る換算差額	△266	△586
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△37,648	△36,765
現金及び現金同等物の期首残高	2,193,104	1,697,952
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,155,456	1,661,186

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、サンネット㈱の株式を取得し、子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。